

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 佐川急便株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒608-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町68番地	
本票作成	部署名：岡山営業所 安全推進課				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	事業用貨物自動車による貨物の運送				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	佐川急便株式会社 岡山営業所		岡山市南区郡3006番地	
	②	佐川急便株式会社 倉敷営業所		倉敷市曾原416-1	
	③	佐川急便株式会社 津山営業所		津山市高野本郷1830-2	
	④	佐川急便株式会社 倉敷西営業所		浅口市鴨方町地頭上字長谷55	
	⑤	佐川急便株式会社 山陽営業所		赤磐市沼田1091-1	
⑥	佐川急便株式会社 高梁営業所		高梁市落合町阿部字河原田2360-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 333 台)				

計画期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度 (2 箇年度)		
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準 <input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	
	目標削減率	1.6 %	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 27 年度)	4,713 t CO ₂	
	目標年度 (平成 29 年度)	4,713 t CO ₂	
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	基準年度 (平成 27 年度) の排出量
	①	佐川急便株式会社 岡山営業所	1,850 t CO ₂
	②	佐川急便株式会社 倉敷営業所	1,192 t CO ₂
	③	佐川急便株式会社 津山営業所	712 t CO ₂
	④	佐川急便株式会社 倉敷西営業所	445 t CO ₂
	⑤	佐川急便株式会社 山陽営業所	362 t CO ₂
⑥	佐川急便株式会社 高梁営業所	152 t CO ₂	

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 県内の集荷個数	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.316 kg CO ₂ / (個数)	0.311 kg CO ₂ / (個数)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 27 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

佐川急便の取組みとして佐川急便環境行動による年間の環境行動を『燃費改善・節電強化・コピー用紙使用削減』や各月の環境行動を設定し、エネルギー使用量1%削減を目標にして取り組んでいます。また岡山県下に於いては各営業所独自の取組を実施し、原単位に関して1.6%に削減目標にしています。

【目標削減率達成のための推進体制】

佐川急便環境行動については各営業所毎に取組み状況及び結果を本社CSR推進部環境課へ報告しております。また、全国全営業所の取組みを確認できるシステムにて情報共有、良い取組みは随時、水平展開を実施し、目標達成に向けた推進を行っています。また、定期的に目標達成に対する進捗状況を確認し、取組内容の見直し等、必要に応じた対応を実施します。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
県内6営業所	平成27年度実施 ○『エコ安全ドライブ7カ条』に基づき、エコドライブを実施。 ○全車両にキーチェーンを装備し、アイドリングストップを実施。 ○ドライブレコーダー搭載を促進、エコドライブの個別指導を実施。 ○看板灯のライトダウン及び不必要な電灯の消灯を実施。 ○季節により事務所内の温度管理を実施。（夏：28℃ 冬：20℃）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
県内6営業所	平成28年度実施予定 ○平成27年度実施分を継続して実施する。 ○事業所毎に年間の燃料削減目標を定め、適宜進捗確認を行う。 ○事業所全体の取組みに加え、車両毎の個別管理を行う。 ○現場指導強化、添乗指導や安全パトロールを継続して行う。 ○添乗指導時にエコドライブ、アクセルワーク指導を実施。 ○ドライブレコーダーに搭載されている機能の一つで『ふんわりアクセル度判定にて』全車両80%以上を目指す。 ○各営業所に必ず設置されているベルコンローラーについて、稼働時間を出来る限り削減する。また、こまめに電源を落とす。 ○営業所に設置されているクール貨物保管設備について開け閉めの回数を削減し節電に努める。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--